

# 教科等研究会（小学校図工部会） 令和元年度 研究活動のまとめ

## 1 研究テーマ

みんなで楽しく  
「見つめ・感じ・つくりだす」授業づくり

## 2 研究経過

第 1 回			第 2 回			第 3 回			第 4 回		
6/3	25人	広安西小学校	8/20	広安西小学校	実技研修会	10/31	嘉島西小学校	三城優子教諭	1/24	木山中学校	島田弥咲講師

## 3 研究の概要

### (1) 研究の内容

#### ① テーマについて

本年度の上益城郡教科等研究会全体テーマ、「児童生徒一人ひとりが輝く『分かる・できる』『楽しい』授業づくり」を受け、昨年度設定したテーマをさらに継続して研究を進めていくことにした。図画工作科の目標は、「児童自らが感性を働かせながら、つくりだす喜び」を味わわせることであり、「創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」ことにある。しかし、図画工作科の授業において、「不器用だ」「不得意だ」と苦手意識を持って過ごす子どももいる。そのような子どもたちも全員が参加でき、理解し、習得し、活動していくことができるようにすることが求められる。そのため、授業のUD化の視点を持ち、「焦点化」「視覚化」「共有化」を図り「みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』図画工作科の授業づくり」を研究していくこととした。

『分かる・できる』『楽しい』授業づくりのためには、興味を持つ教材・教材との出会わせ方や全員ができるための手立てなども研究していった。また、ICTを有効に活用した教材の研究等を行った。

#### ② 実技研修

実技研修会では、株式会社採光社の山崎様をお招きし、接着剤での接合技法と光をテーマにした教材の研修を行った。

立体作品の製作において、接合は大きな課題である。児童が意欲を持続していくためには、接合がうまくいくことが大切である。まず接着剤の種類と用途について学んだ。接着剤は、接着したい材料やその性質によって様々な種類があるため、扱い方や安全性を確かめてから使用することが大切である。次に、教材用の化学接着剤を使って実際の作品を製作していった。化学接着剤を使う際の注意点としては○接着剤を薄くのぼし、しばらくおいて溶剤を揮発させて接着すると速く接着できる。○接着する際には、しっかりと圧着させる必要がある。○完全に接着するまでは、洗濯ばさみなどで固定しておくことよいなどのポイントを知ることができた。



光をテーマにした教材では、光を通す素材を使った

ランタン作りやステンドグラス作りを行った。接着剤のついたセロファンを切り取る、色を擦り取る、重ねるなどの技法を使って作品を製作した。市販の教材を使った作品は、画一的になりがちだが、指導者が様々な技法を知っておくことで、豊かな表現ができることが分かった。

### ③ 研究授業

本部会では、小学校・中学校合同で2回の研究授業を行った。

#### 【小学校での研究授業】

嘉島西小学校 三城 優子 教諭 第2学年 「コロコロ大きくせん！」

#### 【中学校での研究授業】

木山中学校 島田 弥咲 講師 第1学年 「空間を彩るペーパークイリング」

「みんなで楽しく」参加できる授業という視点から教材研究を行った。夏期休業中の実技研修の中で、授業で扱う予定の教材を実際に作り、意見を出し合った。「みんなで楽しく」参加できるためには、目的意識を持って参加できるように工夫すること、イメージを広げさせるための資料や作品例について、どのように作ればよいか手順を明確にさせること、などについて多くの意見が出された。会員が実際に作り、アイデアを出し合うことで、多様な技法が出され作品ができた。

授業研究会では、誰もが楽しく参加できる工夫について多くの意見が出された。最終的なゴールを「ころがしオリンピックをしよう」と設定し意欲を持たせたところや様々な賞を設けることで多様な作品を考えさせられるところが評価された。また、製作の手順を写真や映像を利用して視覚的に分かりやすくする取り組みにより、支援の必要な児童もしっかり取り組むことができたと意見が出された。

更に、ICTの活用についても、手元の作業を拡大して写すなど効果的に活用がなされていたとの意見が出された。



【教材研究をする会員】

## (2) 成果と課題

- 教材との出会わせ方、目的意識の持たせ方、作品の発表の場の設定など児童がわくわくする取組をすることが意欲の持続につながっている。
- 小学校と中学校での共同で研究を行ったことで、小学校からの工夫や中学校からの専門的な意見を聞くことができた。
- 実技研修の中で教材研究をすることにより、研究授業をはじめ実際の授業にも生かすことができた。
- △ 評価していくための見取りの仕方や視点について課題が残った。どんな場面でどのようなことができればいいのか今後の研究が必要である。
- △ 新学習指導要領実施に向けて新しい評価規準での評価について課題を感じている会員が多くなる。評価についての研修を進めていきたい。

## 4 実践事例

### (1) 授業の概要

第2学年「コロコロ大きくせん！」三城 優子 教諭（嘉島西小学校）

本教材は、転がす本体と転がるためのエンジン部分を組み合わせて転がるおもちゃを楽しむながら作るものである。しかし、「自分の思った通りにうまくできない。」と苦手意識を持っている児童や作りたいものを考えることが苦手な児童もいて、みんなが意欲を持続させていくことは難しい。そこで本授業では、材料・参考資料や参考作品・技法の見本・ICT機器を使った作品提示、目指すゴールの設定など多くの工夫をし「みんなで楽しく」参加できる授業を計画された。



## (2) 学習指導案

1 題材名「コロコロ大きくせん！」（開隆堂 図画工作 1・2 年下）A 表現（2）イ，B 鑑賞

### 2 題材について

(1) 本題材「コロコロ大きくせん！」は、転がすボディ部分と転がるエンジン部分の組み合わせを考えて、転がる様子を楽しみながらおもちゃを作る内容である。ボディ部分にはビー玉やゴムボールなどを使い、何がどのように転がったら楽しいかを考えたり、見つけたり試したりして工夫をすることのできる題材である。

### (2) 児童の実態

図工の学習に対して肯定的な思いを持っている児童が多い。しかし、「自分が思ったとおりにうまくできない。」と、苦手意識を持っている児童もいる。また、作りたいもの考える児童も数名いる。友だちと交流することに関しては、「もっと楽しくなるから面白い」など肯定的に捉えている児童が多い中、苦手意識を持っている児童も数名見られた。

### (3) 研究テーマとの関わり

○友だちとの関わり合いを深めるために、活動を通して、友だち同士で考えたり教え合ったりする場を設ける。

○互いの作品のよさや面白さを伝え合うために、児童に動きの特徴や材料の形からイメージすることの視点を持たせ、互いに言葉をかけ合いながら作品を見たり試したりできる環境をつくる。

### 3 題材の目標

「ころがり方をためしたり、見つけたりして、うごくおもちゃを思いつく」ことを通して、試したり、見つけたり、考えたりして、思いつく力を培う。

### 4 評価基準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
動きの特徴に関心をもち、いろいろな材料やつくり方を試しながら作ろうとしている。	転がる動きや、重りにかぶせる容器などの特徴から作りたいもののイメージを広げている。	よりよい動きや、動きの特徴に合う装飾を工夫しながら作っている。	友だちと一緒に、動かしたり遊んだりしながら楽しみ、互いの表現のよさに気づいている。

### 5 指導計画（4 時間扱い 本時 2 / 4）

次	時	学習活動	評価規準及び評価方法
一	1	○用意した容器にエンジンを入れ転がしながら動きの特徴や面白さを見つめる。 ○単元のゴール「転がしオリンピック」への見通しを持つ。	【関】動きや容器の特徴に関心をもち、作品を転がしている。（発言・観察） 
二	2 本時	○考えた構想図をもとに、エンジンやボディを作る。	【発】試したり作り変えたり、さらに別の容器で作ったりするなど、自分なりに作りたいもののイメージをもっている。（観察・構想図）
	3	○思いついた形を作ったり、転がしたりして試しながら、工夫して作る。	【技】作りたいイメージの合わせ、よりよい動きやイメージの特徴にあう装飾を工夫し、試しながら作っている。（観察・発言・作品）
三	4	○題名をつけ、転がして遊びながら、互いの良さをみつけ発表する。	【鑑】作品の動きや形の面白さをみつけ、違いやよさに気づき、互いに認め合っている。（発言・観察）

6 本時の学習

(1) 目標

○試したり作り変えたり、さらに別の容器で作ったりするなど、自分なりに作りたいもののイメージをもつことができる。(発想や構想の能力)

(2) 展開

過程	時間	学習活動(発問●, 児童の反応・)	指導上の留意点(○) 評価(◆)	備考
課題をつかむ	10	1 教師が作った作品を見る。 ●もっとかめさんみたいにするには、どうしたらよいと思いますか。 ・かめの甲羅を作るといいよ。 ・エンジンが速すぎるから、変えてみたらどうかな。	○教師が作った未完成作品を紹介し、よりよい動きや装飾にするにはどうしたらよいかを考えさせ、児童の発想や工夫が広がるようにする。	参考作品
しっかかり考える	10	2 本時の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ころがして ためしたり つくりかえたりしながら つくろう。</div> 3 エンジンとボディを作る。 ●転がして、試しながら作っていきましょう。 ・カップ+ビー玉の動きが面白かったから、ペンギンを作ろう。 ・うまく転がらなかったから、違うものを試してみよう。	○用具の扱い方や方法、使ったときの参考例や注意点を示し、安全に活動ができるようにする。 ○自分の思いを自由に表現するよさを確認しておく。 ○児童が自由に思いついた工夫を試すことができるように、様々な材料を準備しておく。	掲示物 写真付き資料 材料 傾斜場
しっかかり考える	20	4 何度も試したり、作り変えたりしながら、作品を作る。 ●友だちと相談したり試したりしながら、エンジンの動きとボディが合うように作りましょう。 ・エンジンがクネクネしてるから、やっぱりへびにしようかな。 ・くまさんを作りたいけど、転がるスピードが速すぎるから; ビー玉の数を減らしてみよう。	○児童のつぶやきや、作っている作品のよいところを褒め、創作の意欲付けをするようにする。 ○目的を持って作ることができるように、動きや容器の特徴に視点を持たせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">◆発想や構想の能力 B基準 試したり作り変えたりしながら、自分なりに作りたいもののイメージをもつことができる。 (観察・発言・作品)</div>	傾斜場 材料
まとめ	5	5 児童の作品の紹介し、感想交流をする。 ○エンジンの動きとボディの様子はどうか。 ・本当にペンギンみたいな動きになっています。  6 次時の見通しを持つ。	○児童の感想では、動きの特徴を捉えたよさや面白さに視点をおいた言葉の整理をしていく。 ○「転がしオリンピック」に向けて、よりよい作品になるための工夫を考えるようにする。	作品



ゴルフボールを入れてみよう



どんなふうにころがるのかな